①健康増進・予防領域を主たる学修領域とする履修

科目区分		履修科目	履修年次・単位数 1年	2年	計
共通科目		保健医療学特論	●2		
		医療倫理学特論	●2		
		医療社会学特論	○2		
		生涯教育特論			
		英語講読			
		研究特論	●2		
		医療管理学特論			
		形態機能・病態学特論			
		家族ケア特論	○2		
		多職種協働・地域連携特論	●2		
		看護教育特論			
		看護理論			
		コンサルテーション論			
		フィジカルアセスメント			
		臨床薬理学			
		共通科目計	12	0	12
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ			
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ	○2		
		在宅・公衆衛生学演習			
		女性保健学特論Ⅰ			
		女性保健学特論Ⅱ			
		女性保健学演習			
		精神保健医療学特論Ⅰ			
		精神保健医療学特論Ⅱ			
		精神保健医療学演習			
		生活支援医療学特論Ⅰ	○2		
		生活支援医療学特論Ⅱ	○2		
		生活支援医療学特論Ⅲ			
		生活支援医療学演習Ⅰ		○4	
		生活支援医療学演習Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅰ			
		がん看護学特論Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅲ			
		がん看護学特論Ⅳ			
		がん看護学特論Ⅴ			
		がん看護学演習Ⅰ			
		がん看護学演習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅰ			
		がん看護学実習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅰ			
		感染看護学特論Ⅱ			
		感染看護学特論Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅳ			
		感染看護学特論Ⅴ			
		感染看護学演習Ⅰ			
		感染看護学演習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅰ			
		感染看護学実習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅲ			
		健康増進・予防領域（34科目） 小計	6	4	10
	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論			
		運動・動作制御学演習			
		呼吸循環機能学特論			
		呼吸循環機能学演習			
		運動機能回復学特論			
		運動機能回復学演習			
		脳機能回復学特論			
		脳機能回復学演習			
		心身機能回復領域（8科目） 小計	0	0	0

	助産学領域	助産学概論 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 地域･国際助産学特論 助産管理・経営学 母乳育児支援論 比較文化助産論 助産学教育･研究・実践論 助産学演習Ⅰ 助産学演習Ⅱ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ			
		助産学領域（13 科目）　小計	0	0	0
	専門科目　計		6	4	10
特別研究科目		健康増進・予防特別研究 心身機能回復特別研究 助産学特別研究		○10	
		特 別 研 究 科 目　計	0	10	10
合 計			18	14	32

期待される能力

保健医療学を基盤として、多職種連携、チーム医療活動における健康増進・予防領域の課題や考察能力を修得し、地域社会に貢献する能力を養う。

修了後の主な進路

医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員の能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する。

適用　●：必修科目、○：選択科目、数字は単位数

			1年	2年	計
共通科目		保健医療学特論	●2		
		医療倫理学特論	●2		
		医療社会学特論			
		生涯教育特論			
		英語講読			
		研究特論	●2		
		医療管理学特論			
		形態機能・病態学特論	●2		
		家族ケア特論			
		多職種協働・地域連携特論	●2		
		看護教育特論			
		看護理論		○2	
		コンサルテーション論		○2	
		フィジカルアセスメント	●2		
		臨床薬理学	●2		
		共通科目計	14	4	18
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ			
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ			
		在宅・公衆衛生学演習			
		女性保健学特論Ⅰ			
		女性保健学特論Ⅱ			
		女性保健学演習			
		精神保健医療学特論Ⅰ			
		精神保健医療学特論Ⅱ			
		精神保健医療学演習			
		生活支援医療学特論Ⅰ			
		生活支援医療学特論Ⅱ			
		生活支援医療学特論Ⅲ			
		生活支援医療学演習Ⅰ			
		生活支援医療学演習Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅰ	●2		
		がん看護学特論Ⅱ	●2		
		がん看護学特論Ⅲ	●2		
		がん看護学特論Ⅳ		●2	
		がん看護学特論Ⅴ		●2	
		がん看護学演習Ⅰ	●2		
		がん看護学演習Ⅱ	●2		
		がん看護学実習Ⅰ	●2		
		がん看護学実習Ⅱ		●4	
		がん看護学実習Ⅲ		●4	
		感染看護学特論Ⅰ			
		感染看護学特論Ⅱ			
		感染看護学特論Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅳ			
		感染看護学特論Ⅴ			
		感染看護学演習Ⅰ			
		感染看護学演習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅰ			
		感染看護学実習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅲ			
		健康増進・予防領域（34科目）　小計	12	12	24
	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論			
		運動・動作制御学演習			
		呼吸循環機能学特論			
		呼吸循環機能学演習			
		運動機能回復学特論			
		運動機能回復学演習			
		脳機能回復学特論			
		脳機能回復学演習			
		心身機能回復領域（8科目）　小計	0	0	0

	助産学領域	助産学概論 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 地域･国際助産学特論 助産管理・経営学 母乳育児支援論 比較文化助産論 助産学教育･研究・実践論 助産学演習Ⅰ 助産学演習Ⅱ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ			
		助産学領域（13 科目）　小計	0	0	0
	専門科目　計				
特別研究科目		健康増進・予防特別研究 心身機能回復特別研究 助産学特別研究		○10	
		特 別 研 究 科 目　計	0	10	10
合 計			26	26	52

期待される能力

保健医療学を基盤として、多職種連携、チーム医療活動における健康増進・予防領域の課題や考察能力を修得し、地域社会に貢献する能力を養う。

修了後の主な進路

医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員の能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する。

適用　●：必修科目、○：選択科目、数字は単位数

③健康増進・予防領域（高度実践看護師教育課程感染看護学）を主たる学修領域とする履修

科目区分		履修科目	履修年次・単位数 1年	2年	計
共通科目		保健医療学特論	●2		
		医療倫理学特論	●2		
		医療社会学特論			
		生涯教育特論			
		英語講読			
		研究特論	●2		
		医療管理学特論			
		形態機能・病態学特論	●2		
		家族ケア特論			
		多職種協働・地域連携特論	●2		
		看護教育特論			
		看護理論		○2	
		コンサルテーション論		○2	
		フィジカルアセスメント	●2		
		臨床薬理学	●2		
		共通科目計	14	4	18
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ			
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ			
		在宅・公衆衛生学演習			
		女性保健学特論Ⅰ			
		女性保健学特論Ⅱ			
		女性保健学演習			
		精神保健医療学特論Ⅰ			
		精神保健医療学特論Ⅱ			
		精神保健医療学演習			
		生活支援医療学特論Ⅰ			
		生活支援医療学特論Ⅱ			
		生活支援医療学特論Ⅲ			
		生活支援医療学演習Ⅰ			
		生活支援医療学演習Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅰ			
		がん看護学特論Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅲ			
		がん看護学特論Ⅳ			
		がん看護学特論Ⅴ			
		がん看護学演習Ⅰ			
		がん看護学演習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅰ			
		がん看護学実習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅰ	●2		
		感染看護学特論Ⅱ	●2		
		感染看護学特論Ⅲ	●2		
		感染看護学特論Ⅳ	●2		
		感染看護学特論Ⅴ		●2	
		感染看護学演習Ⅰ		●2	
		感染看護学演習Ⅱ		●2	
		感染看護学実習Ⅰ	●3		
		感染看護学実習Ⅱ		●4	
		感染看護学実習Ⅲ		●3	
		健康増進・予防領域（34科目） 小計	11	13	24
	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論			
		運動・動作制御学演習			
		呼吸循環機能学特論			
		呼吸循環機能学演習			
		運動機能回復学特論			
		運動機能回復学演習			
		脳機能回復学特論			
		脳機能回復学演習			
		心身機能回復領域（8科目） 小計	0	0	0

	助産学領域	助産学概論 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 地域･国際助産学特論 助産管理・経営学 母乳育児支援論 比較文化助産論 助産学教育･研究・実践論 助産学演習Ⅰ 助産学演習Ⅱ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ			
		助産学領域（13 科目）　小計	0	0	0
	専門科目　計				
特別研究科目		健康増進・予防特別研究 心身機能回復特別研究 助産学特別研究		○10	
		特 別 研 究 科 目　計	0	10	10
合 計			25	27	52

期待される能力

保健医療学を基盤として、多職種連携、チーム医療活動における健康増進・予防領域の課題や考察能力を修得し、地域社会に貢献する能力を養う。

修了後の主な進路

医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員の能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する。

適用　●：必修科目、○：選択科目、数字は単位数

④心身機能回復領域を主たる学修領域とする履修

科目区分		履修科目	履修年次・単位数 1年	2年	計
共通科目		保健医療学特論	●2		
		医療倫理学特論	●2		
		医療社会学特論			
		生涯教育特論	○2		
		英語講読			
		研究特論	●2		
		医療管理学特論			
		形態機能・病態学特論	○2		
		家族ケア特論			
		多職種協働・地域連携特論	●2		
		看護教育特論			
		看護理論			
		コンサルテーション論			
		フィジカルアセスメント			
		臨床薬理学			
		共通科目計	12	0	12
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ			
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ			
		在宅・公衆衛生学演習			
		女性保健学特論Ⅰ			
		女性保健学特論Ⅱ			
		女性保健学演習			
		精神保健医療学特論Ⅰ			
		精神保健医療学特論Ⅱ			
		精神保健医療学演習			
		生活支援医療学特論Ⅰ			
		生活支援医療学特論Ⅱ			
		生活支援医療学特論Ⅲ			
		生活支援医療学演習Ⅰ			
		生活支援医療学演習Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅰ			
		がん看護学特論Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅲ			
		がん看護学特論Ⅳ			
		がん看護学特論Ⅴ			
		がん看護学演習Ⅰ			
		がん看護学演習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅰ			
		がん看護学実習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅰ			
		感染看護学特論Ⅱ			
		感染看護学特論Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅳ			
		感染看護学特論Ⅴ			
		感染看護学演習Ⅰ			
		感染看護学演習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅰ			
		感染看護学実習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅲ			
		健康増進・予防領域（34科目）　小計	0	0	0
	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論	○2		
		運動・動作制御学演習			
		呼吸循環機能学特論		○2	
		呼吸循環機能学演習			
		運動機能回復学特論			
		運動機能回復学演習			
		脳機能回復学特論	○2		
		脳機能回復学演習	○4		
		心身機能回復領域（8科目）　小計	8	2	10

	助産学領域	助産学概論 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 地域･国際助産学特論 助産管理・経営学 母乳育児支援論 比較文化助産論 助産学教育･研究・実践論 助産学演習Ⅰ 助産学演習Ⅱ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 助産学実習Ⅲ			
		助産学領域（13 科目）　小計	0	0	0
	専門科目　計		8	2	10
特別研究科目		健康増進・予防特別研究 心身機能回復特別研究 助産学特別研究		○10	
		特 別 研 究 科 目　計	0	10	10
合 計			20	12	32

期待される能力

保健医療学を基盤として、多職種連携、チーム医療活動における心身機能回復領域の課題や考察能力を修得し、地域社会に貢献する能力を養う。

修了後の主な進路

医療機関、介護保険下の諸施設、保健福祉行政等で、継続教育の指導的立場で職員の能力開発の指導に携わる。さらには臨床実習学生の教育・研究活動に従事する。

適用　●：必修科目、○：選択科目、数字は単位数

⑤助産学領域

科目区分		履修科目	履修年次・単位数 1年	2年	計
共通科目		保健医療学特論	●2		
		医療倫理学特論	●2		
		医療社会学特論			
		生涯教育特論			
		英語講読			
		研究特論	●2		
		医療管理学特論	○2		
		形態機能・病態学特論			
		家族ケア特論	○2		
		多職種協働・地域連携特論	●2		
		看護教育特論			
		看護理論			
		コンサルテーション論			
		フィジカルアセスメント			
		臨床薬理学			
		共通科目計	12	0	12
専門科目	健康増進・予防領域	在宅・公衆衛生学特論Ⅰ			
		在宅・公衆衛生学特論Ⅱ			
		在宅・公衆衛生学演習			
		女性保健学特論Ⅰ	○2		
		女性保健学特論Ⅱ	○2		
		女性保健学演習	○4		
		精神保健医療学特論Ⅰ			
		精神保健医療学特論Ⅱ			
		精神保健医療学演習			
		生活支援医療学特論Ⅰ			
		生活支援医療学特論Ⅱ			
		生活支援医療学特論Ⅲ			
		生活支援医療学演習Ⅰ			
		生活支援医療学演習Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅰ			
		がん看護学特論Ⅱ			
		がん看護学特論Ⅲ			
		がん看護学特論Ⅳ			
		がん看護学特論Ⅴ			
		がん看護学演習Ⅰ			
		がん看護学演習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅰ			
		がん看護学実習Ⅱ			
		がん看護学実習Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅰ	○2		
		感染看護学特論Ⅱ			
		感染看護学特論Ⅲ			
		感染看護学特論Ⅳ			
		感染看護学特論Ⅴ			
		感染看護学演習Ⅰ			
		感染看護学演習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅰ			
		感染看護学実習Ⅱ			
		感染看護学実習Ⅲ			
		健康増進・予防領域（34科目）　小計	10	0	10
	心身機能回復領域	運動・動作制御学特論			
		運動・動作制御学演習			
		呼吸循環機能学特論			
		呼吸循環機能学演習			
		運動機能回復学特論			
		運動機能回復学演習			
		脳機能回復学特論			
		脳機能回復学演習			
		心身機能回復領域（8科目）　小計	0	0	0

	助産学領域	助産学概論	○2		
		助産学特論Ⅰ	○4		
		助産学特論Ⅱ	○6		
		地域･国際助産学特論	○2		
		助産管理・経営学	○2		
		母乳育児支援論	○1		
		比較文化助産論		○1	
		助産学教育･研究・実践論		○1	
		助産学演習Ⅰ	○2		
		助産学演習Ⅱ	○1	○1	
		助産学実習Ⅰ	○2		
		助産学実習Ⅱ	○4	○4	
		助産学実習Ⅲ		○1	
		助産学領域（13 科目）　小計	26	8	34
	専門科目　計		48	8	56
特別研究科目		健康増進・予防特別研究			
		心身機能回復特別研究			
		助産学特別研究		○10	
		特 別 研 究 科 目　計	0	10	10
合 計			48	18	66

期待される能力

①周産医療センター及び病医院の機能に応じて妊婦健診・正常分娩を自立して助産できる能力

②妊産婦及び新生児のハイリスク事例に対して緊急対応ができる助産師が持つべき判断力と技術力

修了後の主な進路

産科を標榜する病医院及助産院、MFICU、NICU、院内助産システムの施設、保健所・保健センター、市町村の母子保健行政担当、進学（大学院及び認定看護管理コース）

適用　●：必修科目、○：選択科目、数字は単位数

⑥保健医療学系以外の学修履歴を有する学生

※領域履修科目以外に、科目履修制度にて保健医療学分野の知識基盤の修得を図る科目

科目区分	履　修　科　目	履修年次・単位数		
		1 年	2 年	計
看護学概論		◇前		
理学療法概論		◇前		
作業療法概論		◇前		
人体の構造・機能Ⅰ		◇前		
現代医療論		◇後		
臨床心理学		◇前		
生理学Ⅰ		◇前		
生理学Ⅱ		◇後		
受講科目　計		9	0	9